

本物。品訪

鹿児島県 特産 特探

2012かごしまの新特産品コンクール
鹿児島県特産品協会理事長賞

小型精密仏壇「宝光」

ほうこう

場所を取らず、移動も簡単にできる超小型で精密な仏壇。伝統工芸士の認定を受けた職人の匠の技により制作され、荘厳さや品格を感じさせます。

南九州市の川辺伝承七職会会長の藏前矢須夫さんにお話を伺いました。

小型なのに存在感がありますね

出来るまでに苦労したことは

今後の抱負をお聞かせください

長い歴史を誇り、国の伝統的工芸品にも指定されている川辺仏壇ですが、ライフスタイルの変化などにより従来型仏壇の消費が低迷し、また輸入品も台頭してきていることから、最盛期と比べると生産が大きく減少しています。

そこで、消費者からは仏壇が無い家にも置ける小型サイズの仏壇も求められているものの、一方で現代仏壇では簡素化されている仏壇本来の「荘厳・かたち」は守りたいという思いから、今回の作品が生まれました。各部の作りは、従来型に優るとも劣らない精密で豪華な仕上がりになっています。



匠の技と純金箔押しで仕上げられています。「豪華さ」も川辺仏壇の魅力です。

経験豊富な職人たちですが、今回のような超小型の仏壇は制作したことがなく、ある意味「挑戦」でした。川辺仏壇の制作は分業制で、七つの工程(木地、彫刻、宮殿、金具、塗り、蒔絵、仕上げ)がありますが、あまりにも仏壇が小さいことから、試行錯誤を繰り返しながら制作していきましました。また、微細部の型取りは手加工では困難だったため、共同開発者である県工業技術センターのレーザー加工技術を活用するなど、職人の匠の技と先端技術の融合により完成させることができました。

職人として、荘厳かつ品格ある作品づくりを行うとともに、川辺仏壇の七つの工程は個々の技術としても完成度が高いので、この伝統工芸技法を生かして、お客さまに求められる作品を継続して開発していきたいと考えています。また、職人の高齢化や後継者不足により職人の技が途絶えてしまわないように、先人が築いた仏壇制作技法を後世に残していく努力を続けていきたいですね。



「伝統工芸士の認定を受けた会員の技を結集して『宝光』を制作しました」と話す藏前さん(前列・左側から二人目)と川辺伝承七職会の会員・協力者の皆さん



小型精密仏壇「宝光」税込450,000円
(高さ36cm×幅21.5cm(扉開時43.5cm)×奥行18.5cm)

プレゼントコーナー

かごつま弁茶托を3名様、蒔絵のブローチを2名様にプレゼント。

応募締切 平成25年4月30日(火)

応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに

①希望品名(1つ) ②「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ③郵便番号 ④住所 ⑤氏名 ⑥年齢 ⑦職業 ⑧電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

はがき宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



川辺伝承七職会
〒897-0221
南九州市川辺町田部田3744-1
電話 0993-56-0091
FAX 0993-56-5372
<http://kawanabe-nanashokukai.com/>

広告